

～勇気ある決断～

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 竹ノ内賢一郎
◆編集責任者/担当 副会長 上田康文 ◆制作・編集 第42期広報委員会/委員長 石原 効

8月例会開催

平成28年8月17日(水)ホテルサンルート米子にて8月例会が開催された。



冒頭、竹ノ内会長から「7月の総会卒会式、トライアスロン、県総会、水郷祭への出店を全員の力を結集して乗り越えられたことを誇りに思っている。今年度もお地蔵さまプロジェクトを実施するが、次に繋げるために本日の議論を全員真剣に聞いて欲しい」と挨拶があった。

第一部は、「大山とお地蔵さまプロジェクトの展望」というテーマでパネルディスカッションを実施した。鳥取県西部総合事務所西部観光商工課塚本成史氏、大山寺圓流院住職大館宏雄氏、とやま旅館兜山真宏氏の3名をパネリストとしてお招きし、当会積善委員会の高井賢一委員長と山内正樹会員がコーディネーターを務めた。

大山は、過去に「東の富士山、西の大山」と呼ばれるほど栄華を誇り、平成30年に開山1300年を迎え、大規模な法要を中心とした各種イベントが企画されている。

塚本氏からは、「大山開山1300年祭」の主要プロジェクトについて説明いただいた。プロジェクトは3つあり、日本のはじまりの地「大山」の恵みを感じさせる歴史もの、宿泊に繋がることも想定して蛍や漁火など緑や星空を楽しんでもらう観光もの、水の出荷量全国3位でもある水と食の大山ブランド発信ものである。「国立公園満喫プロジェクト」の採



択を受け、ビューポイントや森林観察道などのハード面の整備も検討中とのことである。

大館氏からは、大山は様々なことに御利益がある山であるとの説明があったほか、お地蔵さまプロジェクトについて「幼いときに大山のお地蔵様を掃除したという思い出を作ってもらえるだけで大変有意義。掃除をすることによって身近にお地蔵様を感じられ、命の尊さも感じられるようになるのではないか」との話があった。



兜山氏からは、大晦日のカウントダウンイベント、たいまつ行列について、継続ではなく永続させるためには数字を追う必要があり、イベントだけではなく協賛企業の告知もするなどの結果、現在では50社を超える企業がスポンサーとなっているとの説明があった。また、外国の方にも興味を持ってもらえるように、鳥取県の補助金を活用して日本語・英語が併記されたパンフレットを作成されている。

質疑応答の後、廣谷副会長から「現代の子どもたちの原風景は大きなショッピングモールを歩くことらしい。子どもたちが将来、お地蔵さまを掃除して大山を歩いたことが原風景だと言ってくれるような事業として継続させていきたい」と謝辞があった。



子どもの成長や心の教育に大きな役割を果たすことができる大山お地蔵さまプロジェクトが非常に重要であるということに改めて感じた例会となった。

そして、8月例会の第二部では、納涼懇親会として、第36回全日本トライアスロン皆生大会に出場した会員からの挨拶、ボランティア活動の振り返りをして慰労を行った。

(記事:松井)

8月例会を終えて



今年度も継続事業として行われます「第2回お地蔵さまフェスティバル」に向けて、行政や大山で活躍される経営者、住職と様々な立場の方から意見をいただこうと、パネルディスカッション形式を取らせていただきました。第1回お地蔵さまフェスティバルへの感想や、今後への期待など沢山の意見をいただき、それを会員全員で聞き、学んで考える、そして会員からも活発な意見や質問を沢山出させていただきました。このやり取りの中で、やはり「この故郷で生まれた子供たちにこの故郷の素晴らしさを知ってほしい」、その象徴が「大山」なのかなと感じました。第2回開催へ向け意思統一させていただきたく感じています。

納涼懇親会では、第36回皆生トライアスロン、荒川実行委員長には映像で、各部部长や選手の皆様、そして第42期各委員長及び委員会メンバーの皆様に変な盛り上げていただきました。運営に際して反省する部分は多分にございますが、また一つ、一体感が増した懇親会を行うことができたと感じています。

最後に、「ホテルサンルート米子」での最後の月に会員みんなで思い出がつくれたことに感謝し、僭越ながら「当会が長年お世話になりありがとうございました」と述べさせていただきます。

積善委員会 委員長 高井 賢一
(宍松友 統括マネージャー)

川中修一氏・坂口千加広氏 受章おめでとうございます



平成28年7月21日(木) ホテルサンルート米子において、川中修一氏(川中・野口法律事務所 長、第15期卒会)、坂口千加広氏(まほろば税理士法人坂口事務所代表社員、第16期卒会)の受章を祝う会が盛大に開催されました。

平成28年春の叙勲において、川中氏が旭日小綬章、坂口氏が瑞宝双光章を受章されました。川中氏は日本弁護士連合会理事を務められた功績、坂口氏は長年に亘り調停委員を務められた功績による受章です。

当日は、土井一朗OB会長をはじめ合計42名のOB会員・現役会員が出席し、和気あいあいとした雰囲気の中で、おふたりの受章を盛大にお祝いしました。

おふたりのご功績に敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍を祈念いたします。



!! 委員会訪問 !! ~ 翔女委員会 ~

8月8日米子市公会堂にて、翔女委員会を訪問させて頂きました。

2回目の委員会ということもあり、緊張している人もいると思いましたが、9月に担当例会が予定されていることもあり委員会メンバー全員がすでにまとまっているように感じました。

委員会の前半は、役員会資料の説明等を吉田委員長がスムーズに進行され、質問の時間では委員会メンバーがどんどん質問されていました。

休憩を挟んで後半では担当例会の打ち合わせを行いました。委員長が全体の流れを説明され、気になる点や気が付いたこ

とをメンバー全員が発言し、より良く・よりスムーズに進行出来る様に話を詰めておられ、全員が熱い思いを持って担当例会を成功させようと一丸となっていると感じました。翔女委員会ということもあり、女性のパワーも強く感じる委員会でした。

最後になりますが、貴重な委員会時間に訪問させて頂き、ありがとうございました。(記事:新井)



第42期 副委員長抱負

総務委員会

西田裕志

(山陰酸素工業株式会社 技術本部 設備工事事務供給技術グループメディカルチーム課長)



総務委員会副委員長をさせて頂いております西田裕志です。当委員会は通常総会・新年例会・OB交流会の他、青経連・中海圏域等担当事業が多く、沢山悩むこともあると思いますが、秋里副会長・委員会メンバーと共にしっかり相談しながら、高塚委員長の掲げられた委員会テーマをいかに具現化するのか、この1年間本気で取組んでまいります。皆さまどうぞよろしくお願いたします。

政治ビジネス委員会

松田順次

(合同印刷株式会社 取締役社長室長)



第42期政治ビジネス委員会の副委員長を務めさせていただきます松田順次です。初めて副委員長という役をさせて頂くことになり、委員長・副委員長の大変さを身をもって感じています。まだまだ委員長に言われて動いている状態ですが、副委員長としての仕事を理解し、委員長を支えていけるよう頑張りますので宜しくお願いします。

積善委員会

石原 竜

(尚青空オート 工場長)



第42期積善委員会副委員長を拝命致しました石原竜です。入会してから約3年という経験から、副委員長として1年間どう関わることが出来るのか悩み、また模索中です。しかし、担当となったからには、高井委員長をサポートし、また、他のメンバーと共に委員会を盛り上げていきます。『Just Do It. (行動あるのみ)』頑張ります。

広報委員会

野口浩一

(川中・野口法律事務所 弁護士)



広報委員会副委員長の野口浩一です。33期(平成20年3月)に入会し、遂に副委員長を務めさせて頂くこととなりました。石原委員長を補佐して委員会を盛り上げるとともに、中央会に恩返しできるように1年間頑張ります。記事依頼や取材の際にはご協力いただきますようお願い申し上げます。宜しくお願い致します。

匠委員会

堀尾一仁

(株式会社堀尾建築設計事務所 専務取締役)



匠委員会副委員長をさせて頂いております堀尾一仁です。村田委員長が掲げられた委員会テーマ『勇猛果敢』の精神で、委員長の想いが実現できるよう懸命に取り組んでいこうと思います。また、委員会メンバーが会に楽しく参加でき、力強く翔け抜けるような活動や雰囲気創りに尽力していきたいと考えます。皆様どうぞよろしくお願いたします!

翔女委員会

長谷川恵一

(カルテック・ジャパン株式会社 営業技術)



翔女委員会副委員長を務める長谷川恵一です。社会人としても中央会会員としても若輩未熟者ではありますが、委員長・副会長・委員会メンバーの良き架け橋となり、委員会を盛り上げてまいります。先人に学びつつも自分らしさを忘れることなく、期末には委員長が高く羽ばたけるように尽力致します。よろしくお願いたします。

境港地区中央会OB交流会



平成28年8月20日(土)境港市幸神町のウイングにて境港OB交流会が開催されました。今年の6月にご卒会された渡辺(一)新OB、拜藤新OB、長谷川(洋)新OBの3名を含め、約20名のOBに参加いただき、現役会員との交流を楽しんでいただきました。気さくな方ばかりで、アットホームな懇親会になったと思います。会長をはじめ役員や新入会員の紹介もでき、OBの皆様から激励の声(ヤジ?)が飛んでいました。

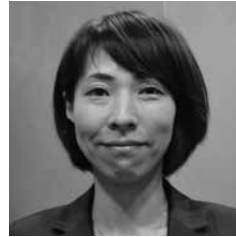
二次会はシーズンへ移動し、今度は現役会員からOBの皆様の歌声にヤジを…いえ、耳を傾けていました。中央会を卒会されてからも現役当時の話に花が咲いておられ、境港の会の強い絆を垣間見ました。OBの皆様が楽しそうにされている顔を見ることができ、参加できてよかったと思います。

(記事:高田)

9月例会に向けて

翔女委員会 吉田通代委員長

(米子ニューアーバンホテル レストラン運営管理者)



『イクボス?』

まだ聞き慣れない言葉かもしれませんが。今期、翔女委員会は、女性活躍社会の実現に向け、現状の課題とその改善策を検証していきます。私たちが幼少の頃は、「男は仕事、女は家庭」と言われ、長時間労働は当たり前。むしろそれが美德でさえありました。近年では共働き家庭が増加し、女性の社会進出も増加傾向にあります。反面、出産や育児において、女性の負担は減らないという問題も発生しています。部下や後輩の育児参加を理解し、支援する上司や経営者を増やす必要が生じ、『イクボス』が誕生しました。

9月セミオープン例会では、～上司が変われば組織は変わる～という演題で、NPO法人ファザリング・ジャパン関西の篠田厚志様にご講演頂きます。より多くの方に聞いて頂き、今後のヒントにして頂きたいと思っております。

2016 松江水郷祭

総務委員会・翔女委員会

総務委員会の恵比木です。松江YEG様との交流事業として、7月30・31日の2日間、翔女委員会とともに水郷祭にて、焼き餃子・かき氷・生ビール・ハイボール等を販売するテナント出店に参加いたしました。

昨年に続いての出店で内容も一部変更とのことでしたが、見事に目標数をクリア。各人が知恵を出し合い、存分に個性を活かし、浴衣の美女を横目で追いかけてながらもしっかりと結果を残す…。さすがは中央会のメンバーです!

灼熱の太陽の下、祭の熱気と鉄板の熱、メンバーの熱意で会場

の気温は上昇。Tシャツに塩ができるくらい汗をかきました。それでも、文字通り「誰かの為に汗をかく」ことの楽しさ、目標数をクリアした達成感から、ヘトヘトになりながらも爽快な気分です。何よりも皆で喜びを分かち合うことができた、とても有意義な時間でした。

また、改めて感じたことは前準備の重要さです。私は当日作業のみの参加でしたが、何日も前から企画を練り、準備をされたメンバーのおかげをもつての成功だと思えます。

最後になりましたが、お手伝いを頂いた竹ノ内会長・松田直前会長、テナントにお越し頂いたOB会員・現役会員の皆様、お買い上げ頂いたすべての皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。



OB訪問 大同警備保障(有)

盛政春樹OB(第40期ご卒会)を訪ねて



澄み渡る青空の中、第40期ご卒会の盛政春樹OBがいらっしゃる大同警備保障(有)にお伺いしました。初めての取材で緊張している私を気遣って頂き、終始和やかな雰囲気の中、お話をお聞かせ頂きました。

中央会生活で良かったことは、普段の仕事では接することの無い業種の方と出会い、共に活動し、会社の枠を超えた会員同士の繋がりの中、様々な事にチャレンジし多くの気づきを得られたことだとおっしゃられました。

現役時代は例会や委員会等、様々な活動に出席する為に仕事

との時間調整が大変だったが、それも良い勉強になったそうです。

一番の思い出は、記念行事の準備に携わり、テーマ「前進」を生み出すことが出来たことであると当時を思い出しながら語られていました。

最後に現役会員に対して、「息切れしない様に全力疾走しろ!」「初心に帰り、多くを学べ!」「失敗しても良い。悔いを残すな!」「常に活発で魅力のある中央会にして欲しい!翔人になれ!」と、猛暑に勝るくらいの熱いメッセージを頂きました。我々現役会員は、この熱い想いを胸に日々活動して参りたいと思います。

ご多忙の中、取材をお引き受け頂きました盛政春樹OBに感謝申し上げます。

(記事:武田)

中央会 Q & A

「盛政OBが考える『現役とOBが継続的に交流を深めるために必要なもの』とは?」

～答えはホームページで!～

第22回 オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆開催

去る8月21日(日)、第22回オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆が開催されました。

当日は例年同様、残暑厳しい炎天下。ボランティアスタッフに、この大会を企画された当時の委員長でもある景幹雄OBをはじめ、たくさんのOBの方々、当会現役会員、そして全日本トライアスロン皆生大会に関わる方々が多くいらっしゃったことにも改めて感動しました。選手としても、秋里副会長、野口広報副委員長のお子さん、私(白石)の二男も出場いたしました。保護者の皆さんも夢中になって応援しておられました。

参加した子どもたちは本当に輝いていました。ただひたすら一生懸命ゴールに向かっていく姿には毎年感動させられます。この中央会の一委員会から始まった大会が、いつまでも続くことを心から願っています。そして参加した子どもたちが、これからもこの地域と関わってまっすぐに育っていきけるよう、親として地域の大人として全力でサポートしていきます。

(記事:白石)



翔人になるために ～ de Japon ～

第42期会長 竹ノ内賢一郎

第42期もいよいよ本格始動いたしました。今年度も会員全員がよい刺激を与え、受けあい一歩でもそれぞれが成長できる1年にしたく思います。

私はあまり学のない人間ですが、そんな中でも目の前に壁が立ちだる度に思いだす言葉があります。

数年前、誰かがハンサムに執筆されていましたが、それを目にしたときにびっくりしたことがあります。『宿命に生まれ 運命に挑み 使命に燃える』故小淵恵三元総理の言葉です。『宿命』とは生まれながらにして授かるもので自分では変えることができない。『運命』とは自分の意志を超越したところで身の上を巡ってくるが努力次第で変えることも可能。『使命』とは自分の人生の最大の課題、自分に与えられた役割。

様々な出来事や、出会いを大切に今期も全力で翔け巡りましょう！

9月役員会報告

平成28年9月1日(木)米子市公会堂 第1集会室にて9月役員会が開催されました。議題は以下のとおりです。

- ・8月例会開催報告の件
 - ・会員拡大プロジェクトの件
 - ・9月例会開催の件
 - ・10月例会開催の件
- なお、詳細については各委員長までご参照ください。

9月例会案内

と き：平成28年9月15日(木) 18:40～20:40

と ころ：米子市福祉保健総合センター ふれあいの里4F中会議室

内 容：テーマ「イクボスと企業」

～女性活躍社会の実現に向けて～

講演 NPO法人ファザーリング・ジャパン関西
理事長 篠田 厚志氏

演題 「上司が変われば組織は変わる」

担 当：第42期 翔女委員会

所属企業変更等のお知らせ

濱田 修 副会長

社長就任

(旧) 株式会社ホクシン 代表取締役専務

(新) 株式会社ホクシン 代表取締役社長

村田 博 委員長

法人設立に伴う企業名変更

(変更前) 村田家

(変更後) 村田家株式会社 代表取締役

木嶋康之 会員

所属企業変更

(変更前) きじま保険企画

(変更後) 株式会社D・I・P

鳥取県米子市昭和町74-2

電話 21-3331 FAX 21-3336



勇気ある決断

専務理事 福山輝展

人生の中で選択が必要な場面は色々あります。大きいところでは進学、就職、また中央会への入会やこの度の専務理事の役を受けさせて頂いたことも勇気が必要な決断だったと思います。中でも人生で一番勇気が必要だった大きな決断は“結婚”でしょうか。

私は倉敷出身で長男ということもあり、このまま山陰で暮らしているのかも含め、とても悩みました。両親の理解のおかげもあり今の妻と結婚できたわけですが、結果決断は正しかったと信じています！妻とは今の会社に就職してなければ出会ってないでしょうし、その前に別の大学に進んでいれば今の会社には就職してないでしょう。今までの人生のそれぞれの選択のおかげで、いろんな人との出会いがあり、いろんな出来事があり、その全てが今の自分につながっていると感じています。

編集後記

まだまだ暑い日が続きますが、お盆を過ぎてから少しずつ涼しくなってきたように感じます。ふと空を見上げると秋らしい雲が広がり、綺麗な夕焼けに心が奪われます。夏の疲れを出されませんよう、皆様ご自愛ください。

(広報委員会 高田典宗)